

2025 年度地質標本館イベント 「地球なんでも相談」開催報告

兼子 尚知¹

1. はじめに

2025(令和7)年8月23日(土)と2026(令和8)年2月7日(土)に、地質標本館イベント「地球なんでも相談」を開催しました。例年、夏休み後半にこのイベントを開催していて、多くの方が夏の間に採集した鉱物・岩石・化石などの鑑定にお越しくださいました。一方、年1回の開催では少ないとのご意見もみられたため、初めての試みとして冬季の2月にも開催しました。

2. 実施内容

これは地球に関するご相談・ご質問をなんでもお受けするイベントですが、鉱物・岩石・化石といった地質標本鑑定のご依頼が多数を占めています。内訳を述べると、8月は鉱物30件(141個)、岩石44件(298個)、化石12件(53個)、地球に関するご質問9件(計95件・492個)、2月は鉱物16件(61個)、岩石25件(194個)、化石6件(17個)、地球に関するご質問5件(計52件・272個)でした。過去の相談件数を振り返ると、2019年度59件(396個)、2023年度63件(280個)、2024年度72件(403個)

でしたので、件数は年々増加しています。

当日は混雑が予想されるため、スムーズな運営となるよう様々な工夫をしています。前回開催(兼子ほか、2025)にならい、以下の内容で運営しました。予約は不要であることから、多数のご相談が集中すると待ち時間がとても長くなってしまいます。お待ちいただく時間をできるだけ短くするため、お受けする個数を10個までとさせていただきました。ロビーで標本カテゴリー(鉱物・岩石・化石)の仕分けと受け付けをして(第1図)、鑑定・ご相談は多目的室で行いました(第2図)。複数のカテゴリーをお持ち込みの場合は、カテゴリー毎に相談対応をしました。また、映像室を待合室として運用し(第3図)、進行状況の映像をリアルタイムで館内に表示しました。さらに、2月の開催時には、試行的に共用講堂(ホワイエ)を開放し、休憩所兼飲食スペースとして利用していただきました。

地質標本の鑑定は、地質調査総合センターに所属する鉱物・岩石・化石それぞれを専門とする研究者が担当しました。地球に関するご質問は、その内容に近い専門の研究者が臨機応変に対応し、必要に応じて展示物を見ながら説明を行いました。多くの方がお越しになるイベントですので、地質標本館のスタッフが総出で運営にあたりました。



第1図 ロビーでの標本仕分けと受け付けのようす(左=8月;右=2月)。

¹ 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター

キーワード：地質標本館、鉱物、岩石、化石、相談



第2図 多目的室内での鑑定と説明のようす(左=8月;右=2月)。



第3図 映像室(待合室)のようす(8月)。

第1表に、標本カテゴリー毎の担当と運営の役割分担を記します。

3. アンケート結果

参加者のみなさんにアンケート記入のお願いをし、8月は67名、2月は47名から回答をいただきました。参加者は8月・2月ともに小学生と一般の方が大半で、中・高・大学生は少ない傾向でした。イベント開催を知るきっかけは、地質標本館ウェブサイトが多数を占め、ほかには産総研公式XやSNSのようなインターネットの情報、ポスターなどによるとの回答もみられました。お住まいは、茨城県内と県外が同数程度でした。県内はつくば市内とそれ以外がほぼ拮抗し、県外は関東地方が多いものの、2月は近畿

第1表 鉱物・岩石・化石それぞれの担当研究者と運営スタッフ等(敬称略)。

【鉱物】

坂野 靖行(地質情報研究部門)
左部 翔大(地圏資源環境研究部門)
柳澤 教雄(地質情報基盤センターアーカイブ室)

【岩石】

村岡 やよい・山田 来樹^{A・C}(地質情報研究部門)
池永 有弥^C(活断層・火山研究部門)
斎藤 眞^B(地質調査総合センター連携推進室)
川邊 禎久(地質情報基盤センター地質標本館室)

【化石】

利光 誠一(地質調査総合センター連携推進室)
辻野 匠・有元 純^A(地質情報研究部門)
中澤 努^B・中島 礼^A(地質情報基盤センター)
兼子 尚知^B(地質情報基盤センター地質標本館室)

【地球に関する質問】

住田 達哉・坂野 靖行^B(地質情報研究部門)
左部 翔大^B(地圏資源環境研究部門)
利光 誠一^A(地質調査総合センター連携推進室)
中澤 努^A(地質情報基盤センター)
柳澤 教雄^A(地質情報基盤センターアーカイブ室)
兼子 尚知^A・下川 浩一^A・川邊 禎久^A(地質情報基盤センター地質標本館室)

【仕分け・受け付け】

住田 達哉・辻野 匠(地質情報研究部門)
中澤 努(地質情報基盤センター)
兼子 尚知・下川 浩一・土井 琢磨^A(地質情報基盤センター地質標本館室)

【運営スタッフ】

武井 勇二郎・瀬口 寛樹・藤原 智晴・福田 和幸・朝川 暢子・
清水 裕子・中村 由美^B(地質情報基盤センター地質標本館室)

^A: 8月のみ, ^B: 2月のみ, ^C: アウトリーチ研修(8月)

地方(三重県・奈良県・大阪府)や岩手県からお越しの方も
おられました。本イベントの利用は初めての方が94%(8
月)・85%(2月)で、次回も参加したいとの回答がどちら
も97%以上ありました。

イベントの感想は、勉強になった・おもしろかった・わか
りやすかったとの好意的な回答がほとんどを占めていて、
満足していただいたことが読み取れます。少数ですが、む
ずかしかったとのご意見もみられました。研究者の解説は
熱が入りすぎて、難解な用語も含まれていたのかもしれま
せん。

4. おわりに

8月の相談では多くの方が夏休みの自由研究とするよう
で、夏のイベントとしてすっかり定着しています。2月は
件数こそ8月より少ないものの、当日は小雪の舞う天候に

もかかわらず数十名の方がお越しくださり、潜在的な需要
が高いことを確認できました。今後も定期的な開催を計画
したいと考えています。

最後になりましたが、ご協力くださった研究者・スタッ
フのみなさまに篤くお礼申し上げます。

文 献

兼子尚知・川邊禎久・森田澄人・武井勇二郎・常木俊宏・
藤原智晴・福田和幸・瀬口寛樹・下川浩一・朝川暢子・
清水裕子(2025)地質標本館イベント「地球なんでも
相談」開催報告。GSJ地質ニュース, 14, 118-119.

KANEKO Naotomo (2026) Report on "Consultation about
the Earth" at the Geological Museum in 2025 FY.

(受付: 2026年2月20日)